

科目名 Course Name	特別支援教育・保育Ⅱ Special Needs Education and Nursing Ⅱ				ナンバリング No.	K2-011	
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	大熊信成						
連絡方法	C-Learning で対応。または社会福祉棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(保育士養成課程必修)						
関連 DP	DP2、DP4、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>ノーマライゼーションの理念の下、特別な支援を要する子どもの保育は障害児施設だけではなく、保育園・幼稚園でも一般化してきている。特別な支援を要する子がより良い生活を送れるように保育や支援の仕方を具体的に学ぶ。更に、手話歌や点字絵本を紹介し、車椅子介助や盲人介助の仕方などを学ぶ。</p> <p>①子どもの行動の見方を知り、気持ちを理解する視点を身につけるようにする。 ②子ども一人ひとりの気持ちに合わせて保育することができるようにする。 ③各種障害の疑似体験を通して、障害状況を理解することができるようにする。 ④各種障害の介助体験を通して、適切な介助をすることができるようにする。 ⑤手話や点字を使えるようにする。</p>						
授業の方法	文字資料やVTR映像を使って事例を紹介し、障害がある子の方や対応の仕方の学習を具体的に進める。毎回、小レポートを提出。各種障害の疑似体験・介助体験を行い、実際に手話や点字を使う。アクティブラーニングの技法を取り入れる。レポート課題を実施し、知識の定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	人の行動を通して、その意味や気持ちを分析する視点を持つことができ、子ども一人ひとりの目線に立った保育をすることができる。					
	L03	様々な障害がある子に対して、気持ちに寄り添った支援をすることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	毎回の授業でリアクションペーパーを実施する。リアクションペーパーは振り返りを行い全員でシェアをする。また試験対策を行い、授業内で解答・解説を行う。						
教科書/参考図書	①「はじめての特別支援教育:教職を目指す大学生のために 改訂版」(有斐閣アルマ) ②「現代社会福祉の諸相」大熊信成編著(大学図書出版)、その他、適宜資料を配布。						
履修上の留意点やルール等	一部視聴覚教材を使用し、内容をレポートで確認する。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。こどもフィールドのみ履修できる。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。		20		
レポート/作品	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。最高評価である S は意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。		20		
発表					
小テスト					
試験	論述、選択記述式の定期試験を行い、評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。			60	
その他					
合計			40	60	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス。(授業の内容・進め方・評価の方法)。障害・障がい・障碍の意味
	事前・事後学習	障害の意味についてテキスト等を使って調べ、ノートに整理する。
2	授業内容	インクルーシブ教育を含めた特別支援教育の歴史・理念・仕組み
	事前・事後学習	インクルージョンについてテキスト等を使って調べ、ノートに整理する。
3	授業内容	発達障害や軽度知的障害がある児童及び生徒の障害の特性及び生活・学習上の困難
	事前・事後学習	障害の特性についてテキスト等を使って調べ、ノートに整理する。
4	授業内容	発達障害や軽度知的障害がある幼児の保育・教育課程及び支援の方法
	事前・事後学習	支援の方法についてテキスト等を使って調べ、ノートに整理する。
5	授業内容	視覚・聴覚・知的等に障害がある幼児の障害の特性及び生活・学習上の困難
	事前・事後学習	その特性についてテキスト等を使って調べ、ノートに整理する。
6	授業内容	視覚・聴覚・知的等に障害がある幼児の保育・教育課程及び支援の方法
	事前・事後学習	支援の方法についてテキスト等を使って調べ、ノートに整理する。
7	授業内容	肢体不自由・病弱等がある幼児の障害の特性及び生活・学習上の困難
	事前・事後学習	その特性についてテキスト等を使って調べ、ノートに整理する。
8	授業内容	肢体不自由・病弱等がある幼児の保育・教育課程及び支援の方法
	事前・事後学習	支援の方法についてテキスト等を使って調べ、ノートに整理する。
9	授業内容	「通級による指導」及び「自立活動」の理解と支援の方法
	事前・事後学習	通級と自立活動の意味についてノートに記載する。
10	授業内容	「自立活動」につながる遊具や教材について
	事前・事後学習	様々な遊具についてノートにまとめる。
11	授業内容	個別の指導計画及び個別の支援計画の理解
	事前・事後学習	指導計画及び支援計画の意味について調べておく。
12	授業内容	特別支援教育コーディネーター、関係機関・家庭との連携
	事前・事後学習	特別支援教育コーディネーターの役割について調べておく。
13	授業内容	母国語や貧困や虐待等の問題と生活・学習上の困難
	事前・事後学習	虐待の種類についてテキスト等を使って調べ、ノートに整理する。
14	授業内容	母国語や貧困や虐待等の問題に対する組織的な支援の方法
	事前・事後学習	虐待のメカニズムについて調べ、どのような支援があるかを調べておく。
15	授業内容	特別の支援を必要とする生徒の保護者の気持ちの理解と支援の方法
	事前・事後学習	家族の支援のあり方について調べておく。試験に向けた学習を行う。